

未来を拓く *ethical*

新刊

エシカル購入

編著

山本良一
中原秀樹

東京大学名誉教授・国際グリーン購入ネットワーク会長

東京都市大学教授・グリーン購入ネットワーク名誉会長

注目の消費トレンド CSRの本命 斯界の専門家による日本初の解説書

2008年9月のリーマンショック以降、世界は「新しい資本主義」を模索する一方、欧米などの消費者の間では、環境対策や貧困撲滅、自然災害の被災者支援など「社会貢献」に対する意識が大きく高まっている。「タイム」誌は2009年9月、そうした「エシカル（倫理的）消費者の台頭」(The rise of the ethical consumer)を特集。環境や人権、労働などに配慮した製品・サービスを選択する「エシカル消費」を、選挙、ボランティアに次ぐ第3の社会参加と紹介した。そうした背景もあり、フェアトレードや森林・水産物などの認証、CSR調達のガイドラインを策定する自治体や企業、大学が急増しており、日本でも今後の大きな消費トレンドやCSRの本命として注目されている。

そうした中、日本を代表する環境リーダーの一人、山本良一・東京大学名誉教授(国際グリーン購入ネットワーク会長、エコプロダクツ展示会実行委員長)の呼びかけにより、「自然資本主義」に基づく社会経済システムの実現に向け、国内における「エシカル購入」の包括的支援法の制定などを目指す、産官学政民の「倫理的購入・CSR調達ガイドライン研究会」(事務局・国際グリーン購入ネットワーク)が今春、発足した。

本書は、この研究会で講演した斯界の専門家や企業の担当者24名が、その内容を分かりやすく書き下ろしたもので、幅広い「エシカル購入」を網羅した日本初の解説書。宗教・哲学的考察から、各分野の最新動向、さらに注目の「紛争鉱物」問題を含むCSR調達について、トヨタ、パナソニックなど国内主要企業の取り組みを紹介している。

「エシカル」で自分と未来を変えたいあなたの必読書。

内 容

- ・“心の開発”から“美德経済”の推進
- ・持続可能な消費と倫理的購入
- ・ISO26000とCSR調達
- ・エシカル時代の到来
- ・生物多様性配慮とエシカル購入
- ・地方公共団体におけるCSR調達ガイドラインの動向
- ・海外の倫理的購入の動向
- ・エコラベル、エシカルラベルの何が問題か?
- ・グローバルに広がるフェアトレード認証
- ・フェアトレード・有機認証と生産者
- ・持続可能な低炭素社会への移行と企業のCSR調達
- ・アサヒグループ、トヨタ、花王、パナソニックのCSR調達／展開 など計24編



【発行】環境新聞社

【体裁】A5判、本文約200ページ

【定価】1900円+税(送料別)

ご購入申し込み書(下記にご記入のうえ、ファックスにてご注文ください)販売課 **FAX.03-3351-1939**

(〒 -)	
ご住所	都道府県 市区町村
会社名 団体名	所属・ お名前
お電話番号 () -	E-mail
未来を拓くエシカル購入	部 購入します

環境新聞社 〒160-0004 東京都新宿区四谷3-1-3 第一富澤ビル
電話 03-3359-5371

●商品到着後、代金+送料を、商品と同封の振込用紙でお支払い下さい。 ●ご記入いただいた連絡先へ弊社から各種案内をお送りする場合がございます。